

# 第182回「河川文化を語る会」のご案内

## 講演 **水辺の癒し効果を資源とした 河川での環境経営**

講師 <sup>かん</sup>菅 <sup>かずとし</sup>和利氏  
(芝浦工業大学名誉教授)

広い河川敷、水辺を有する都市近郊の自然河川は、豊かで多様な河川環境を有している。この河川環境の価値を定量化することで、環境資源を商品とした社会的価値による環境経営が考えられる。水辺の直接利用価値はCVM、旅行費用法などで経済的価値の評価を行うことができるが、せせらぎ音の快適性、開放感、のんびり感、景観など精神的、肉体的なゆったり感は定量的に評価できていない。この水辺環境が与える精神的なのんびり感、ゆったり感を「癒し効果」と定義すると、水辺は日常生活の中で負荷されているストレスを開放する役割を有していると捉えることができる。こののんびり感は生体反応としてはストレスが緩和された状態と見なすことができ、ストレス指標によって水辺環境を定量的に評価することが可能である。この講演では、水辺の癒し効果の定量化と「癒し効果の構造化」について話をするとともに、皆さんを被験者として実際にストレス測定を行います。

### 【講師略歴】

1966年愛媛県立今治西高等学校卒業。芝浦工業大学工学部土木工学科卒業。博士(工学) 東京大学。芝浦工業大学の助手、講師、助教授、教授(定年退職)を経て、芝浦工業大学名誉教授、NPO法人日本水フォーラム代表副理事、社団法人淡水生物研究所理事。埼玉県川の再生懇談会座長、Pacific Environmental Fund技術諮問委員(外務省関連、事務局フィジー)、大学基準協会評価委員などを歴任。専門は水理学、河川工学。近年は、世界技術者会議・災害リスクマネジメント委員会委員として、パングラデシュ、スリランカ、東日本大震災など国内外での災害調査に参加。

- 開催日時 平成26年9月26日(金) 14:00~16:00
- 開催場所 埼玉県県民健康センター 1F「大会議室C」  
(さいたま市浦和区仲町3-5-1 TEL:048-824-4801)
- 交通 「浦和駅」から徒歩15分 「中浦和駅」から徒歩20分
- 参加費 無料
- 申し込み/問い合わせ 氏名・(勤務先)・TEL・(FAX)・二種正会員(個人会員)/一般の別を明記の上、FAX/郵送/E-mailのいずれかでお申し込みください。(参加票の送付等はありません。直接会場へお越しください)  
公益社団法人日本河川協会「河川文化を語る会」事務局 担当:高木、佐藤  
TEL:03-3238-9771 FAX:03-3288-2426 E-mail:kataru@japanriver.or.jp
- 申込締切 定員(100名)になり次第締め切らせていただきます。お早めにお申し込みください。

主催:  公益社団法人 日本河川協会 共催: 彩の川研究会 後援: 埼玉県  
当講演会は、「土木学会CPDプログラム」として認定されています。 

(切り取らずにこのままFAXしてください)



日本河川協会 行 FAX: 03-3288-2426

### 第182回「河川文化を語る会」参加申込書

ふりがな

氏名  二種正会員(個人会員)・一般・学生 (いずれかを○で囲んでください)

勤務先(記入は任意)

※職種 (いずれかに○) コンサルタント・建設会社・その他民間企業・行政・財団/社団・NGO/NPO等・その他

TEL ( ) FAX ( )

(※ ご連絡いただきました個人情報は、厳重に管理した上で、講演会等当協会からのご案内に利用させていただきます)

当講演会は、公益財団法人河川財団による河川整備基金の助成を受けています。

